

志賀原子力発電所 1号機 高圧炉心スプレイディーゼル発電機の 制御盤内のケーブル損傷について

平成23年11月17日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 1号機は第13回定期検査を実施中ですが、本日(11月17日)、高圧炉心スプレイ(HPCS)ディーゼル発電機の点検作業において回路試験を実施していたところ、10時03分、「115V HPCS 直流地絡¹」警報が発生しました。

現場を調査したところ、高圧炉心スプレイディーゼル発電機²の制御盤内に焦げ痕があり、ケーブルが損傷していることを確認しました。

原因は、現場の始動用電磁弁³端子箱内のケーブルが端子に噛み込んでいたために短絡が発生したものと考えています。

詳細については、今後、調査してまいります。

外部への放射能の影響はありません。

本件については、国、石川県、志賀町に連絡しています。

以 上

添付資料 志賀 1号機 高圧炉心スプレイディーゼル発電機制御盤内図

1 地絡

電気回路内のケーブルが接地し、異常な電流が流れる状態となること

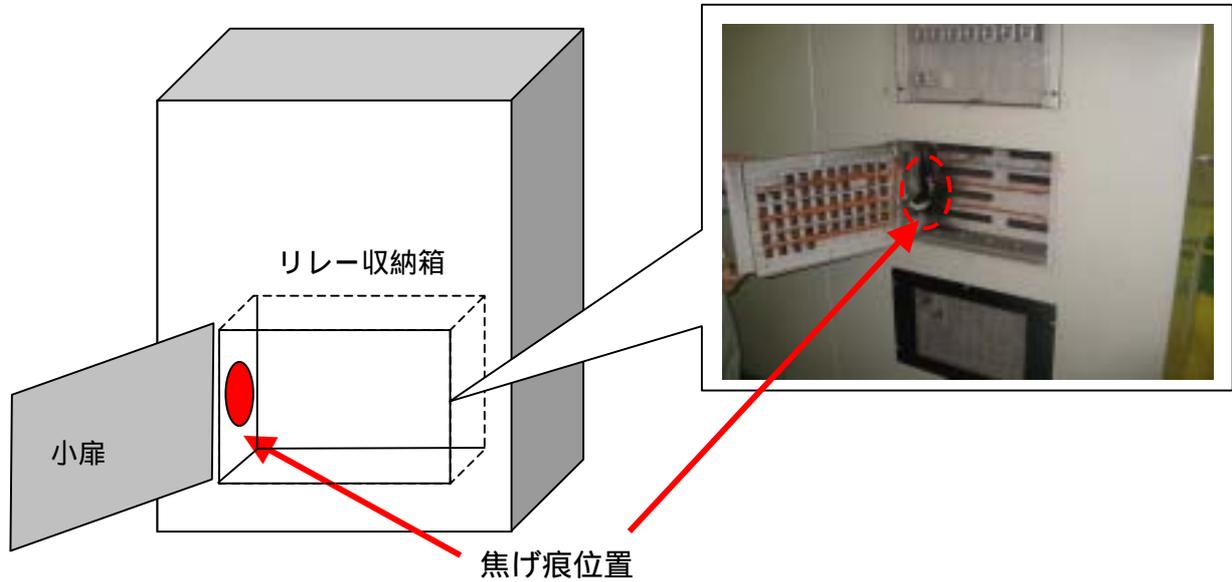
2 高圧炉心スプレイディーゼル発電機

外部電源喪失時に原子炉に注水するポンプの電動機に電力を供給するための発電機の一つ

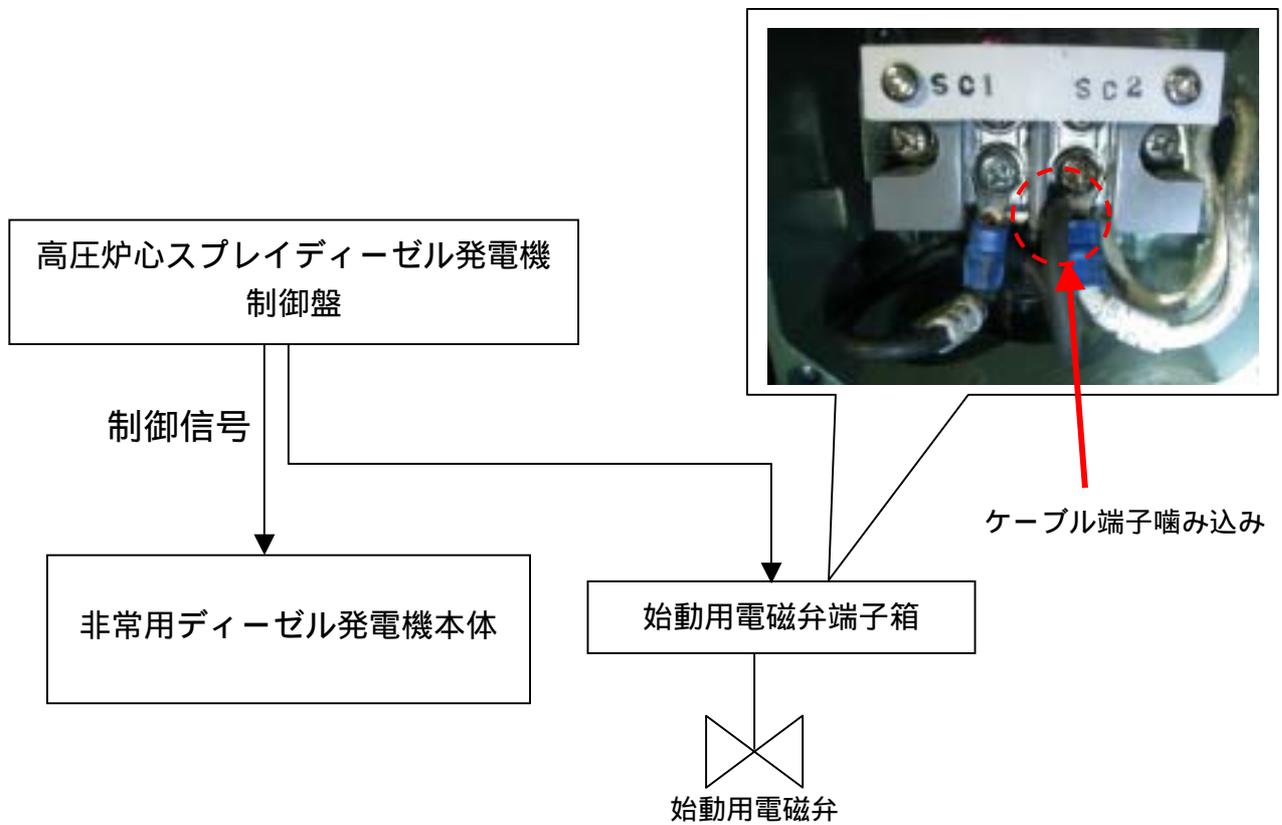
3 始動用電磁弁

ディーゼル発電機を始動する際の圧縮空気を供給するための弁

志賀1号機 高圧炉心スプレィディーゼル発電機制御盤内図



制御盤(裏面)の外観図



制御系統図